



TITLE:

表紙・投稿規定・編集後記・裏表紙ほか

AUTHOR(S):

CITATION:

表紙・投稿規定・編集後記・裏表紙ほか. 物性研究 1980, 34(6): 457-459

ISSUE DATE:

1980-09-20

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/90141>

RIGHT:

昭和42年11月14日 第四種郵便物認可
昭和55年9月20日発行(毎月1回20日発行)
物 性 研 究 第34巻 第6号

vol. 34 no. 6

物性研究

1980/9

1. 本誌は、物性物理の研究を共同で促進するため、研究者がその研究意見を自由に発表し討論しあい、また、研究に関連した情報を速やかに交換しあうことを目的として、毎月1回編集・刊行されます。掲載内容は、研究論文、研究会・国際会議などの報告、講義ノート、研究に関連した諸問題についての意見、プレプリント案内、ニュースなどです。
2. 本誌に掲載される論文については、原則として審査を行いません。但し、編集者が本誌に掲載することを著しく不適当と認めたものについては、改訂を求め、または掲載を拒絶することがあります。
3. 本誌の掲載論文を他の学術雑誌に引用するときは、著者の承諾を得た上で **private communication** 扱いにして下さい。

投稿規定

1. 原稿は400字詰原稿用紙を使用し、雑誌のページ数を節約するために極力簡潔にお書き下さい。
2. 原稿は2部（オリジナル原稿及びコピー）提出して下さい。
3. 数式、記号の書き方は Progress, Journal の投稿規定に準じ、ミスプリントが生じないように処置をとって下さい。上ツキ、下ツキ、英字の大、花文字、ギリシャ文字、oとaと0(ゼロ)、uとnとr、cとe、l(エル)と1(イチ)、xと×(カケル)、uとv等を赤で指定して下さい。
4. 数式は3行にわたって大きく書いて下さい。
5. 1行以内におさまらない可能性のある長い数式等は必ず改行の際の切れ目を赤で指定して下さい。
6. 図はそのまま印刷できるものを原稿に添えて下さい。図の縮尺、拡大は致しません。1頁(13×19cm²)以内に入らない図、そのまま印刷できない図は原則として著者に返送し、書き改めていただきます。図、表の説明は別紙に書き、本文中に挿入位置を赤で明示して下さい。
7. 投稿後の原稿の訂正はできるだけさけるようにして下さい。
8. **別刷は原則として作りません。**どうしても別刷が入用な場合は、投稿の際に所要部数を50部単位で申込んで下さい。別刷代は下記方式により、**現金で納入**していただきます。

(郵券による受付はいたしません)

p : 物研出来上り頁数

x : 別刷所要部数

a : 別刷1頁の代金 3円

b : 製本代(別刷1部につき) 30円

別刷代 = (ap + b)x + 送料

別刷代金は別刷を受取ってから、1ヶ月以内に納めて下さい。それより遅れた場合には遅滞追徴金を請求されることがありますから、御注意下さい。

9. 原稿締切日は毎月10日で原則として次月発行誌に掲載されます。

ニュース

〔東京大学 教養学部〕

。 談話会

7月4日 “Channeling Radiation” 小牧研一郎氏（東大・教養）

〔東京大学 物性研究所〕

。 談話会

7月31日 “Current Studies of Metal Clusters”

Dr. J.F. Hamilton (Research Laboratories Eastman Kodak Company)

8月12日 “Structural and Dynamical Properties of Graphite Intercalation Compound”

Prof S.A. Solin (Michigan State Univ.)

。 土曜セミナー

7月5日 “Effect of Strong Correlation on a Mixed Valence” 上田和夫氏（東大工）

7月19日 “スピングラスにおける2—および3—スピנקラスター理論”

中西一夫氏（東大物性研）

〔信州大学 理学部〕

。 人のうごき

三輪浩氏が1980年4月1日付で阪大理学部から信州大学教養部に着任された。

。 研究会（テーマ）

物性研究史研究志向グループによる「物性物理学史研究会」が1980年8月6日—9日の4日間、信州大学理学部（松本市）で開かれ、グループ内外から十数名が参加した。そのプログラム（予定ではなく、実際におこなわれたもの）は次の通りであった。

第1日（8月6日）

9:15～9:30 開会のあいさつ（勝木 渥）

9:30～10:50 勝木 渥：磁性理論の系譜からみた本多理論とWeiss理論

ニュース

11:00～13:00 河宮信郎：本多の金属物理学とその社会的・技術的背景

14:00～16:50 長崎誠三：戦時中の東大第二工学部の研究生活および1930年代の熱測定

17:00～18:00 勝木 渥：Heisenberg の強磁性理論と広根・彦坂の理論

第2日（8月7日）

9:30～11:20 常石敬一：旧日本軍の細菌戦研究（招待講演）

11:40～13:20 河宮信郎：旧日本海軍の技術研究——川村宏矣の場合

14:30～16:50 島田一平：「物性論研究」に発表された1940年代の統計力学研究

17:00～17:40 川合葉子：Gibbs の熱力学

17:40～19:00 〔資料に関する情報交換〕

第3日（8月8日）

9:30～10:50 木村東作：1930年代の東京物理学校のカリキュラム，その他（招待講演）

11:00～13:00 中山正敏：1920年代の東大物理教室の構成

13:30～14:00 }
17:00～17:30 } 〔資料収集についての意見交換・討論〕

18:00～20:00 勝木 渥：“経験的ききがき学”

第4日（8月9日）

9:30～10:50 広川俊吉：Boltzman と日本の物理（石原純の場合）

11:20～13:30 中山正敏：木内政蔵とシュタルク効果の研究——日本における量子力学受
容史の1コマとして——

14:30～15:00 〔閉会の雑談〕

編 集 後 記

京都も異常気象からのがれようもなく8月になっても梅雨のような天候であけくれている。
しかし雨雲にもまして重苦しいのは「物性研究」の発行のおくれである。原稿を寄せて下さる
方の御努力と御期待が数か月も待たされてしまうことに対してお詫びのしようもない気持ちで
ある。

(H. K.)

物 性 研 究

第 34 卷 第 6 号
1980 年 9 月 20 日 発行

発行人	長 岡 洋 介 京都市左京区北白川追分町 京 都 大 学 湯 川 記 念 館 内
印刷所	昭 和 堂 印 刷 所 京都市左京区百万辺交叉点上、東側 TEL (075) 721-4541~3
発行所	物 性 研 究 刊 行 会 京都市左京区北白川追分町 京 都 大 学 湯 川 記 念 館 内

編 集 後 記

京都も異常気象からのがれようもなく8月になっても梅雨のような天候であけくれている。
しかし雨雲にもまして重苦しいのは「物性研究」の発行のおくれである。原稿を寄せて下さる
方の御努力と御期待が数か月も待たされてしまうことに対してお詫びのしようもない気持ちで
ある。

(H. K.)

物 性 研 究

第 34 卷 第 6 号
1980 年 9 月 20 日 発行

発行人	長 岡 洋 介 京都市左京区北白川追分町 京 都 大 学 湯 川 記 念 館 内
印刷所	昭 和 堂 印 刷 所 京都市左京区百万辺交叉点上、東側 TEL (075) 721-4541~3
発行所	物 性 研 究 刊 行 会 京都市左京区北白川追分町 京 都 大 学 湯 川 記 念 館 内

講読規定

個人購読

1. 会費：当会の会費は前納制をとっています。したがって、3月末までになるべく1年間分会費を御支払い下さい。
なお新規購読お申込みの場合は下記の会費以外に入会金として、100円お支払い下さい。

1年間の会費

1st volume	2,340円
2nd volume	2,340円
計	4,680円

(1年分まとめてお支払いが困難の向きは1 volume 分ずつでも結構です)

2. 支払いの際の注意：なるべく振替用紙を御利用の上御納入下さい。
(振替貯金口座 京都5312)
なお通信欄に送金内容を必ず明記して下さい。
雑誌購読者以外の代理人が購読料を送金される場合、必ず購読者本人の名前を明記して下さい。
3. 誌代の支払遅滞の場合：当会の原則としては、正当な理由なく2 Vols.以上の誌代を滞納された場合には、送本を停止することになっていきますので御留意下さい。
4. 一括送本を受ける場合：個人購読中に大学等で一括配布を受ける様になった場合は、必ず「個人購読中止、一括配布希望」の通知をして下さい。逆の場合も同様です。
5. 送本先変更の場合：住所、勤務先の変更等送本先が変わった場合は、必ず送本先変更届を提出して下さい。

学校、研究所等機関購読

1. 会費：学校・研究所等での購読及び個人であっても公費払いのときは機関会員とみなし、代金は、1冊 730円、1 Vol. 4,380円、年間 8,760円です。この場合、入会金は不用です。学校、研究所の会費の支払いは後払いでも結構です。しかし購読申込みをされる時に支払いに必要な請求、見積、納品書各何通必要なのかをお知らせ下さい。
なお、当会の請求書類では支払いができない様でしたら、貴校、貴研究機関の請求書類を送付して下さい。
2. 送本中止の場合の連絡：発行途上にある volume の購読途中中止は認められません。購読中止される場合には、1ヶ月前ぐらいに中止時期を明記して「購読中止届」を送付して下さい。

雑誌未着の場合、発行日より6ヶ月以内に当会までご連絡下さい。

物 性 研 究 34—6 (9月号) 目 次

○飯田氏へⅢ	近藤 淳	439
○飯田氏へⅣ	近藤 淳	446
○Electronic Spatial Structures of Eigenstates in Amorphous Alloys	小畑修二・篠原正三	451
○ニュース		457
○編集後記		459

物 性 研 究 34—6 (9月号) 目 次

○飯田氏へⅢ	近藤 淳	439
○飯田氏へⅣ	近藤 淳	446
○Electronic Spatial Structures of Eigenstates in Amorphous Alloys	小畑修二・篠原正三	451
○ニュース		457
○編集後記		459